

第2学年 道徳学習指導案

平成30年6月21日(木) 第5校時

指導者 教諭 新宮奈々子

学級 2年1組(男子5名 女子10名 計15名)

1 主題名 思いやり B- (6)

(資料名 「ネットいじめは人権侵害」)

出典『ネット社会の歩き方：一般社団法人日本教育情報化振興会』

2 主題設定の理由

(1) ねらいについて

中学生の時期は、他の人とのかかわりをもつことの大切さを理解できるようになってくる時期である。しかし、人間的な交わりの場が急速に少なくなりつつある社会環境と合わせて、SNSによるいじめも増えている現状がある。特に手軽に利用できるスマートフォンやタブレット端末などは、生徒間の連絡を容易にすると同時に、悪い情報の伝達にも利用できる。

指導に当たっては、いじめはやってはいけないことではあるが、SNS上でやることは情報が拡散しやすいことや完全に消すことが難しいという点から、よりいけないことであることを指導する必要がある。また、根本において、思いやりの気持ちをもって人と接することが重要だという観点からも、他人の個人情報や写真などを勝手にネット上に載せたりしてはいけないということを含めた基本的ルールや法律も理解させ、違法な行為のもたらず問題についてしっかり自覚させ、行動させることが大切である。

(2) 生徒の実態

男女ともに落ち着いた学級で、学校生活を楽しく過ごしている。全体的に仲も良く、行事等にも協力して取り組んでいる。授業も真面目に取り組み、何事にも熱心に取り組む学級である。しかし、SNSの利用で無意識に相手の心を傷つけたり、友人関係に悩んだりしている生徒もいる。

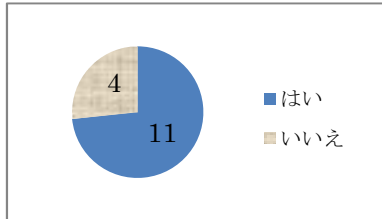
事前アンケートでは、15名中、11名の生徒がSNSなどのネットを利用したことがあり、これは学級の約7割の生徒にも及ぶ。この中には昨年度、SNSによる友人関係のトラブルで、嫌な思いをしたことがある生徒も含まれている。加えて、「アプリやSNSを友人とやり取りすることが多い」と回答した生徒が7人で最も多く、やり取りの中でトラブルに発展する可能性は十分に考えられる。

また、小学校低学年時では「肖像権・著作権に関すること」について、高学年時では「他人の写真や似顔絵を利用するときは、必ず本人の許可を得なければならないこと」について学習している。

[調査期日：6月4日，調査対象：2年1組 15人]

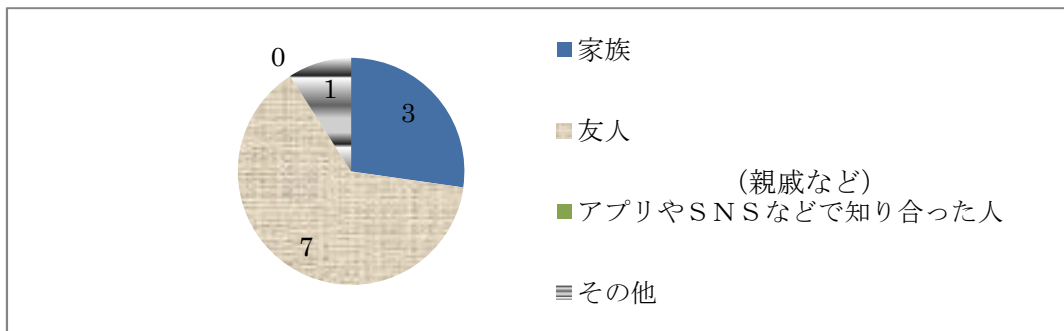
アンケート結果

1. あなたは今までに友人などとやり取りのできるアプリやSNSなどを利用したことがありますか？



※数字は人数を表す。

2. どんな人とやり取りをすることが一番多いですか。(問1で「はい」と回答した11人中)



3. アプリやSNS上でのやり取りにおいて、相手がイヤだと感じるのは、どんなことだと思いますか。自由に書きなさい。(複数回答も可)

- ・ 悪口を言われること 11人
- ・ グループを作って仲間はずれをすること 1人
- ・ 無視されること 3人
- ・ 長くやり取りが続くこと 1人

4. アプリやSNSを使うメリットは何だと思いますか。自由に書きなさい。(複数回答も可)

- ・ いつでも連絡が取れる 5人
- ・ 簡単にやり取りができる 4人
- ・ 離れていても話せる 3人
- ・ 宿題などを忘れた時にすぐ聞ける 3人
- ・ 交流することができる 1人
- ・ 誰にも見られない 1人
- ・ 楽しめる 1人
- ・ 情報を共有できる 1人
- ・ 質問し合える 1人
- ・ 友だちと仲良くなれる 1人

(3) 指導観

以上のアンケート結果から、今回授業で扱う資料の状況は本学級の生徒が理解しやすく、また資料中の場面と自分がSNS上でトラブルを起こしてしまった後の場面とを比較検討することもできると予想される。

ネット上に流した情報はコピーや加工が容易であり、自分がその情報の伝達をコントロールできなくなったり、流したデータを完全に回収することができなくなったりすることを指導した上で、他人

の個人情報勝手にネット上にあげるといった行為が、軽い気持ちでやったということでは済まされない行為であることを理解させ、思いやりの気持ちを持ってネットを正しく使うことを実践させていきたい。

3 学習指導要領との関連

B 主として人とかかわりに関すること

(6) 思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに答え、人間愛の精神を深めること。

4 本時の実際

(1) 本時の目標

アニメ映像資料「ネットいじめは人権侵害」を視聴して、男子生徒2人の行動のどこに問題があったのかを考えさせる。また、ネットに写真などが出てしまうことによって起こりうる問題について自分の意見を持たせた上で、ネット社会においても相手の気持ちや状況を押し量り想像することの必要性に気づかせ、思いやりの心をもって人と接することができる態度を育てる。

(2) 資料について

本資料は、転んだときの写真を友人にネット上で拡散され、不登校になってしまうケンタ君の事件を通して、写真を転送したツバサ君とタクミ君が事の重大さに気付くという内容である。

一度ネットに情報を載せると、その情報を完全に消すことはできない。軽い気持ちでやってしまったこともネット上だと取り返しがつかなく、不特定多数の人に広まってしまうことでトラブルに発展することがあるということを理解させたい。また、相手の気持ちや状況を押し量り、想像することで、思いやりとはどういうものなのかをしっかりと考え、相手の気持ちや立場を尊重し、思いやりの心をもって、誰に対しても温かく接する態度を養う機会にしたい。

(3) 本時の展開

過程	時間	主な学習活動	予想される生徒の反応	・指導上の留意点等 ◇評価
導入	5	1 先日実施したアンケート結果の問3, 問4を確認する。		<ul style="list-style-type: none"> ・大型テレビにアンケート結果を提示する。 ・学級の実態を把握することで、めあての意識化を図る。
	1	2 学習のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ネット社会における「思いやり」のある行動とは、具体的にどんな行動だろう。</div>		
展開	3	3 映像資料を見る。 (1) ケンタ・・・サッカーの練習中に転倒。		<ul style="list-style-type: none"> ・映像の視聴前に登場人物を紹介する。 ・大型テレビで映像を視聴させる。

<p>化</p>	<p>5</p>	<p>(2) ツバサ…ケンタ君が転んだ様子を撮影。</p> <p>(3) タクミ…写真をネットに掲載。</p> <p>4 なぜこんなことになってしまったか、2人の行動から問題を整理する。</p> <div data-bbox="316 539 805 745" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①ツバサ君の行動は何が問題だったのだろうか。</p> <p>②タクミ君の行動は何が問題だったのだろうか。</p> </div> <p>5 被害者の気持ちになって考え、ワークシートに自分の考えを書く。</p> <div data-bbox="316 1055 805 1211" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>もしも自分がネットいじめの被害者になったら、どんな気持ちになるだろうか。</p> </div>	<p>①勝手に写真を撮ったこと。</p> <p>①撮った写真を勝手に他の人にネット上で送ったこと。</p> <p>②送られてきた写真を勝手に他の人に広めたこと。</p> <p>・画像を自分で消せないからつらい。</p> <p>・転んだ写真を見られて恥ずかしい。</p> <p>・写真を広めた人を許せない。</p>	<p>・どんな事件だったのか、口頭で確認する。</p> <p>◇それぞれの立場において何が問題だったかを考え、ワークシートに考えをまとめることができたか。</p> <p>・ワークシートを配布し、被害者の気持ちになってじっくりと考えさせる。</p> <p>・机間指導を行い、生徒の意見を確認し、必要に応じて個別指導をする。</p> <p>◇被害者の気持ちになって考え、ワークシートに考えをまとめることができたか。</p>
<p>自覚化</p>	<p>5</p>	<p>6 加害者側の今後の行動について考え、ワークシートに自分の考えを書く。</p> <div data-bbox="316 1585 805 1731" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>あなたがツバサ君やタクミ君だったら、このあとどうすればよいだろうか。</p> </div>	<p>・すぐに画像を消す。</p> <p>・写真を見た人たちに画像を消すように言う。</p> <p>・学校みんなに自分たちがやってしまったことをきちんと説明する。</p>	<p>・「謝る」以外の意見を出させる。</p> <p>◇加害者側の立場になって、このあとどうすれば良いのかについて、ワークシートに考えをまとめることができたか。</p>
	<p>16</p>	<p>7 「思いやり」についてグループで考え、班の意見をホワイトボードにまとめる。</p>		

			<p>ネット社会における「思いやり」のある行動とは具体的にどんな行動だろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを考えて投稿する。 ・勝手に他の人の個人情報あげない。 ・写真などを載せる時は、相手に許可をもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループを作らせ、班の意見をまとめさせる。 ・ホワイトボードを使って班の代表者に発表させる。 ・一度ネット上にあげた情報は完全に消すことはできないが、それでも被害者のことを考え、誠意ある行動を取ることが大切だと気づかせる。
			<p>ネット社会においても現実社会においても、相手のことを考えて、きちんと行動に移すことが大切である。</p>		
終末	意欲化	5	8 CMを視聴後、教師の説話を聞く。		<ul style="list-style-type: none"> ・大型テレビで「思いやり」に関するCMを見せる。
		5	9 今日の授業で学んだこと、今後の生活に生かしたいことを書く。		<p>◇グループ内で積極的に話し合いを行い、他者の考えを聞き、自分なりに考えをまとめることができたか。</p>

(3) 評価

ア 男子生徒の行動の問題点について、自分の考えをまとめて発表することができたか。

イ ネットいじめの被害者の気持ちになってワークシートに考えをまとめることができたか。

ウ 加害者側の立場になって、このあとどうすれば良いのかについて、ワークシートに考えをまとめることができたか。

エ ネット社会における「思いやり」のある行動について、グループ内で積極的に話し合いを行い、他者の考えを聞き、自分なりに考えをまとめることができたか。

(4) 板書計画

めあて
ネット社会における「思いやり」のある行動とは、具体的にどんな行動だろう。

資料名 ネットいじめは人権侵害

一. もしも自分がネットいじめの被害者になったら、どんな気持ちになるだろうか。

二. あなたがツバサ君やタクミ君だったら、このあとどうすればよいだろうか。

三. ネット社会における「思いやり」ある行動とは、具体的にどんな行動だろう。

4班 1班

5班 2班

3班

5 参考資料

- ・『学校で取り組む 情報社会の安全・安心』 三省堂
- ・『中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』 文部科学省

ネットいじめは人権侵害

学習課題

ネット社会における「思いやり」のある行動とは、具体的にどんな行動だろう。

1. もしも自分がネットいじめの被害者になったら、どんな気持ちになるだろう。

2. あなたがツバサ君やタクミ君だったら、このあとどうすれば良いだろうか。

3. ネット社会における「思いやり」のある行動とは、具体的にどんな行動だろう。

【自分の意見】	【班の意見】

〈今日の授業で学んだことと、今後の生活に生かしていきたいこと〉

〈評価〉	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	そう思わない			
1 授業に意欲的に参加できた。	4	—	3	—	2	—	1
2 自分の考えを話すことができた。	4	—	3	—	2	—	1
3 他の人の考えを受け止めることができた。	4	—	3	—	2	—	1